令和７年

ホタテガイ浮遊幼生調査結果（No.２）

宗谷地区水産技術普及指導所枝幸支所

２回目（４月１８日）の調査結果をお知らせします。

■浮遊幼生の出現状況

ホタテガイのラーバは、1.1個/ﾄﾝの出現で、大きさは150～180μmでした。全体的に2枚貝のラーバは少ない状況で、その他2枚貝も4.2個/ﾄﾝの出現しかありませんでした。

■水温（乙忠部水深25m[中]地点の水深10m）

６．３℃　※例年と比較すると0.6℃程高めになっています。

■透明度

沖　６．０ｍ、中　５．０ｍ、陸　４．５ｍ

※透明度は、陸が沖に比べ僅かに悪い状況でしたが、この時期としては全体的に濁りはあまり見られていません。

■今後の予定

次回の調査は４月２２日（火）に予定しています。

浮遊幼生出現状況　乙忠部沖（水深20・25・30m定点）

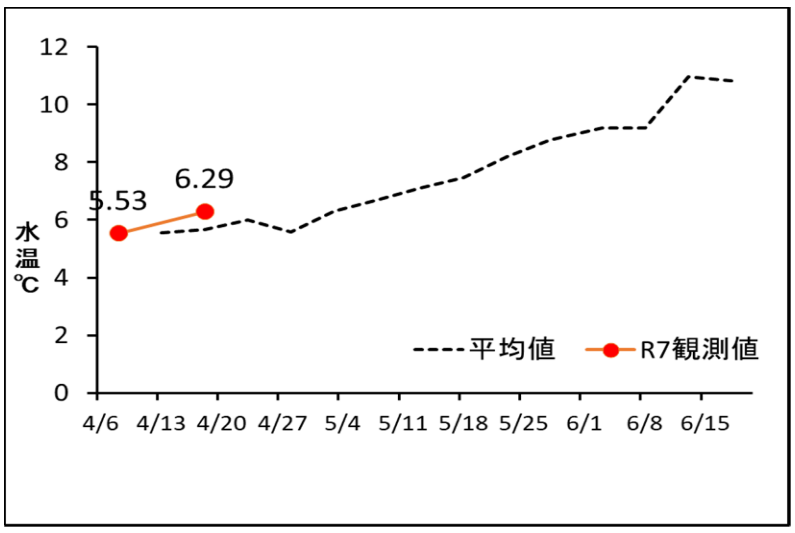
（口径22cm垂直曳き）

月　日		4月8日				4月18日											
殻長μ		20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均
小型幼生	140																
	150			0.9	0.3	1.3		0.9	0.7								
	160																
	170																
	180						1.1		0.4								
	190																
大型幼生	200																
	210																
	220																
	230																
	240																
付着サイズ	250																
	260																
	270																
	280																
	290																
	300																
ホタテガイ 計		0.0	0.0	0.9	0.3	1.3	1.1	0.9	1.1								
その他二枚貝		3.9	32.6	7.9	14.8	6.6	4.2	1.8	4.2								

＊数字は全て海水1トン当たりに換算した数値です。

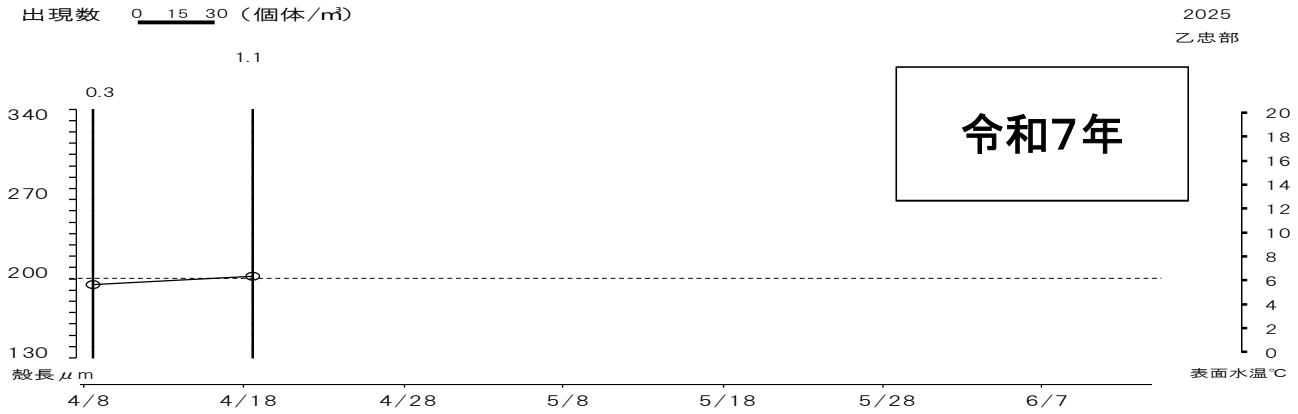
令和7年　水温(℃)

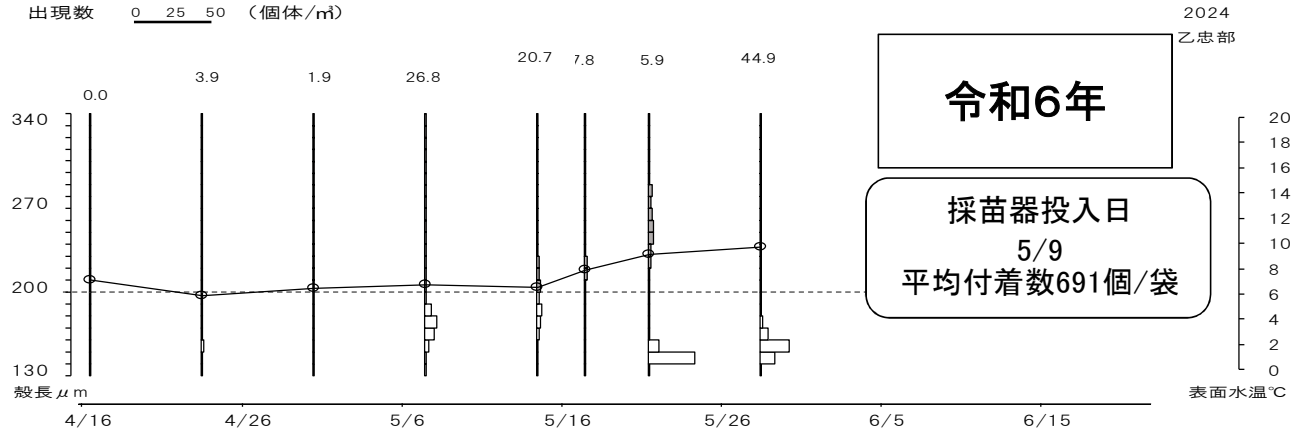
調査定点		4/8	4/18			
水深20m（陸）	0m	5.9	6.6			
	5	5.4	6.5			
	10	5.4	6.4			
	15	5.4	6.3			
	20	5.4	6.3			
水深25m（中）	0m	5.7	6.4			
	5	5.5	6.4			
	10	5.5	6.3			
	15	5.5	6.3			
	20	5.5	6.3			
	25	5.5	6.3			
水深30m（沖）	0m	5.7	6.4			
	5	5.6	6.4			
	10	5.6	6.3			
	15	5.6	6.3			
	20	5.6	6.2			
	25	5.6	6.3			
	30	5.6	6.4			

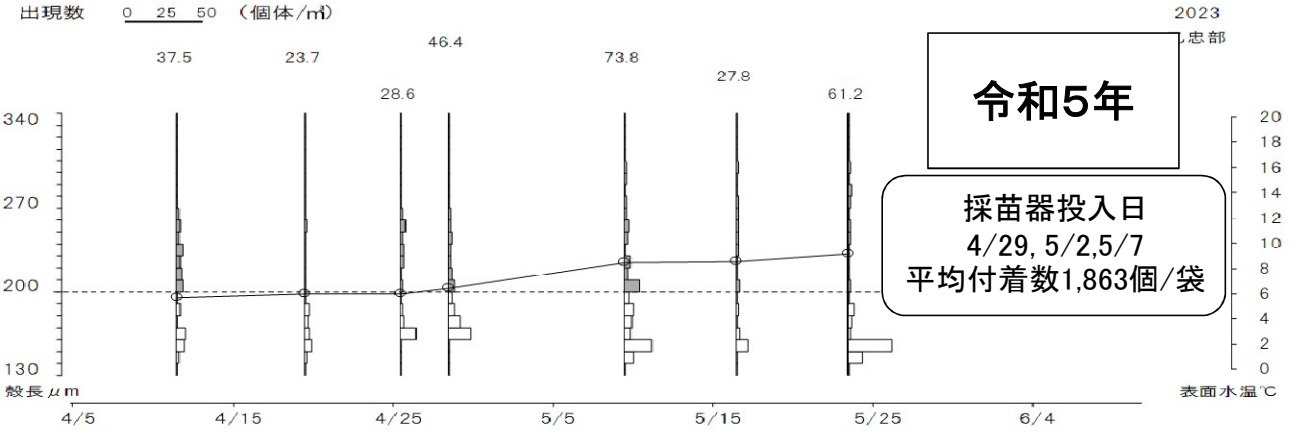


●殻長組成の推移

※出現数は3地点の平均値、表面水温は25m(中)地点の表層水温







他地区の情報

※ラーバ調査結果

1　小樽(4／15)　30.2個/ﾄﾝ(150～300μm)
2　増毛(4／15)　6.72個/ﾄﾝ(140～270μm)
3　臼谷(4／15)　3.89個/ﾄﾝ(150～260μm)
4　鬼鹿(4／15)　0.71～1.89個/ﾄﾝ(140～290μm)
5　宗谷(4／15)　5.4個/ﾄﾝ(150～235μm)
6　雄武(4／15)　2.1～5.7個/ﾄﾝ (150～190μm)
7　沙留(4／15)　0.7個/ﾄﾝ(150μm)
8　紋別(4／15)　0.7個/ﾄﾝ(170μm)

宗谷では、現在みられている主群が、5／3に付着サイズに達すると予想しています。

当地区ではラーバはほとんど見られていませんが、日本海北部では既に250μm以上の付着サイズが連続して見られている地区もあることから、採苗器をいつでも投入できる準備をしておいて下さい。